

2018(平成 30)年度

大学院学生募集要項

博士後期課程

(社会人特別選抜を含む)

(第一期募集)

(第二期募集)

青山学院大学  
大学院理工学研究科

理工学研究科及び入学試験情報の概要は、  
青山学院大学の公式ホームページ (<http://www.aoyama.ac.jp/>) で紹介しています。

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、神と人  
とに仕え社会に貢献する「地の塩、世の光」としての教育研究  
共同体である。

本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら  
問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。それは、  
人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。

本学のすべての教員、職員、学生は、相互の人格を尊重し、  
建学以来の伝統を重んじつつ、おのこの立場において、時代  
の要請に応えうる大学の創出に努める。

### 個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、  
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随す  
る業務を行うために利用します。

## アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

### 《博士後期課程》

本大学院博士後期課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な高度な専門知識・専門技能
- ・学術的な見地から意義ある課題を発見し、理論的枠組みを当てはめていく思考力・判断力・表現力等の能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

### 《理工学研究科》

#### 【基礎科学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、物理学または数理サイエンスを学び研究するための基礎学力がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、物理学・数学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【化学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、化学の基礎が理解できる。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、化学および科学技術と社会との関係に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【機能物質創成コース】

##### ①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相

当の知識を有し、材料科学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・ 大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・ コースの特徴を理解した上で、材料科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

**【生命科学コース】**

①知識・技能

- ・ 専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、生命情報科学、生体分析化学などの基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・ 大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・ コースの特徴を理解した上で、生命科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

**【電気電子工学コース】**

①知識・技能

- ・ 専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、電気電子工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・ 大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・ コースの特徴を理解した上で、電気電子工学及び関連分野に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

**【機械創造コース】**

①知識・技能

- ・ 専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、機械工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・ 大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、ものづくりに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【知能情報コース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、情報テクノロジー関連分野の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、情報テクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【マネジメントテクノロジーコース】

①知識・技能

- ・専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、経営システム工学の基礎が理解できる。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、マネジメントテクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

理工学研究科および各専攻のカリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーは、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_science/](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_science/)

## 青山学院大学大学院理工学研究科 教育研究上の目的

### 人材養成上の目的

人類世界の存続と、更なる発展を可能とするために、豊かな自然環境の保全と平和で活力ある社会環境の創生が求められている。これらの理想を実現するためには理学と工学に基礎を置いた“科学・技術”の革新と展開が不可欠である。このような社会的要請に応えうる人材は、関連する専門分野における確たる基礎力の上に築かれた深い洞察力と高い実行力を有するだけでなく、その周辺の学問分野も含めて広く人類社会を俯瞰する視野と自然環境に対する謙虚な姿勢を堅持している必要がある。

理工学研究科（以下「本研究科」という。）では、キリスト教の精神に基づいた本学の行う教育基盤に立って人格を陶冶し、専門の学術の教授・訓練を通して精深な学識と研究能力を養うとともに、堅実な社会人として国際的にリーダーシップを発揮し、「地の塩、世の光」として文化の発展・創生に寄与し得る人物の養成を目的とする。

博士前期課程では、学部教育における人間形成のための幅広い教養並びに専門的教養基盤に立って、専攻分野における基礎力・応用力の充実はもちろんのこと、研究分野に関わる精深な学識と研究への真摯な姿勢と能力を養う。

博士後期課程では、前期課程での教育成果の上に、独創的研究を通して従来 of 学術水準に新しい知見を加え、文化の発展・創生に寄与するとともに、専門分野におけるこれからの研究を先導し得る能力を養う。

### 学生に修得させるべき能力等の教育目標

博士前期課程では、質の高い専門科目及び社会への視野を広めるための専門科目に加えて実践的英語教育科目をバランスよく配置することにより、専門分野における深い知識と応用力ばかりでなく、国際的な場で研究を発表し討論する語学力と社会及び環境に対する広い視野や高い倫理観に基づく判断力とを同時に養成する。また、修士論文の研究指導を通して問題解決能力と問題発見能力を身につけさせることを目標とする。

### 体系的な教育の課程

これからの科学技術の発展を担う人材は、各分野における深い専門知識と他の専門分野の素養を併せ持ち、幅広い視野に立って研究を遂行し、応用力を発揮できる人物でなければならない。本研究科では、そのような特性を持った人材を育成すべく、従来 of 学問分野の壁を取り去り、1専攻8専修コースの構成にしている。授業科目においても、専攻共通科目として、科学技術英語、科学技術倫理、環境、福祉などの、視野の拡大と優れた人格形成に有用な科目を配置している。1専攻8専修コースの構成により、

- (1) 大学における卒業学科に関わらず、興味を持つコースに進学できる。
- (2) 理工学専攻の共通科目と専修コース科目及び他コース科目をバランスよく履修できる。
- (3) 従来の学問分野の壁を越えた協力体制のもとで最先端の研究を遂行できる。
- (4) 学際領域や新しい学問領域を研究対象にすることができる。

などの特色を持たせている。また、教育プログラムとして専門フロンティアプログラムと複合フロンティアプログラムの2種類を設け、専門フロンティアプログラムは高度な研究と応用を担う人材の育成を目的とし、複合フロンティアプログラムは科学技術を広い視野に立って正しく評価し、社会に発信できる人材の育成を目的とする。

本大学院は本学建学の精神に則り、研究科の課程の目的に応じ、高度かつ専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与する人物を養成することを目的とします。

## 教育研究環境の整備について

(1) 現状の恵まれた施設・設備環境の活用に加え、学部附置機関である「機器分析センター」「先端技術研究開発センター」、大学附置機関である「総合研究所」「情報メディアセンター」との緊密な連携を図る。

(2) 文部科学省等の省庁及び公的機関が公募する、教育・研究プロジェクト採択に向けて学部・研究科全体として取り組む。

(3) 研究領域の拡大と大学院教育の多様化を目的とした制度として、独立行政法人・私立等の研究所と協定に基づき連携して研究教育を行う連携大学院方式を整備している。北里大学医学部とは独自に研究協力協定を結んでいる。これら他研究機関との人的・物的交流について、その成果を総括するとともに、さらなる連携について検討し、幅広い研究・教育システムを確立していく。

(4) 教員個々の研究活動の充実を図るべく、自己点検・評価活動を充実させ、研究活動の公開と学部・専攻内の連携をさらに強化する。

## コース制度

理工学研究科は全体を1つの専攻（理工学専攻）とし、その中に8専修コースを設けています。専修コースの内容は以下のとおりです。

### ① 基礎科学コース

自然科学の基礎である数理科学、理論物理学（物性、固体、宇宙など）、実験物理学（原子・分子、凝縮系、宇宙など）を中心とし、さらに数理生物学、複雑系、地震やレオロジー、量子多体系、量子制御、スピントロニクスなど新分野へも視野を広げています。これら専門分野の研究に携わることは自然科学の神髄に迫る醍醐味を味わうことでもあり、同時に、山積する多種多様で千姿万態な問題の中から本質的な課題を見つけ出し、モデルを構築してそれを解決する能力を養うことにも通じます。深い教養に裏打つけられた知性に富む、自律的、能動的、かつ直感力に優れた人才を涵養します。

### ② 化学コース

物理化学、有機化学、無機化学の3分野で構成されています。分子および分子集合体を対象にして、化学本来の視点から研究を遂行し、幅広く深い化学的素養を身につけた人材を育成します。

### ③ 機能物質創成コース

新機能を持つ物質の創成を中心に、物質設計やデバイス作製等の応用も視野に入れた総合的な研究を行うことを目的としています。物性物理学、固体化学、物質科学、薄膜工学、電気物性工学、表面科学等のいずれかを基礎におきつつ、分野を横断し幅広い知識に精通した、最先端の物質科学を行う人材を育成します。

### ④ 生命科学コース

生命科学の急速な進歩は、新たな学問領域や産業領域を切り拓き、社会に対しても大きな影響を与えつつあります。生命科学コースでは、この広い領域の共通基盤となる知識を身に付け、生命現象を担う分子の構造、機能、およびその調節機構の研究を通して、自ら研究を進める能力の育成を目指しています。また、理工学専攻中の生命科学という特色を生かし、医薬品、食品などの既存分野だけでなく、生命科学領域をフロンティアとする新しい技術の開発にも貢献できる人材を育てたいと考えています。

### ⑤ 電気電子工学コース

回路系から情報通信系、材料・物性系まで広い研究分野の研究室がそれぞれ大学院生を受け入れています。技術者、研究者を目指す者として、現代社会の基盤を支えるエネルギー分野、計測・制御分野、情報・通信分野、電子デバイス分野、材料・物性分野、またそれらの関連分野を対象に学習、研究を進めています。研究指導を重視し、それらを通して自ら考える能力、発見能力、問題解決能力の育成に努めます。技術者、研究者を目指す者として大学院で何を追究したいのか、目的意識をはっきりと持って進学してもらいたいと思います。



⑥ 機械創造コース :

本コースは、人類の持続的発展に役立ち、優れた機能を持つ機器やシステムを創造する研究者と技術者を養成します。すなわち、エネルギー・環境・安全・倫理に対する広い視野に立って、ものの形や機構と力学的作用を深く理解させる教育・研究を行います。さらに、機械に代表されるハードと知能に代表されるソフトとの融合を図り、進んだ情報処理能力、高度な計測技術と解析技術を修得させ、研究指導を通じて総合力を養い、自ら問題発掘と解決のできる学生を育てます。

⑦ 知能情報コース :

知能情報処理・ヒューマンインタフェース・ネットワーク・ロボティクスをキーワードに工学専門領域からビジネスまで広範囲に勉強・研究します。

話題のロボットやビッグデータやウェアラブルなどで世界をリードする理系出身者が専門知識を高める専門フロンティアプログラムと、また最新のネットワーク技術でビジネス開拓を目指すなど文系出身者を受け入れる複合フロンティアプログラムがあります。

いずれにおいても、希望する研究室の教員に事前にコンタクトをとり、疑問点についてディスカッションし、大学院での研究生活を実りあるものにするために、希望する研究分野をはっきりと説明し、進学希望者の意思を教員にはっきり表明することが求められます。

⑧ マネジメントテクノロジーコース :

製品ライフサイクル、生産システム、サプライチェーン、経営技術、環境経営、品質経営などの現代社会が抱える問題領域について、データ分析技術、モデル化技術、最適化技術の観点に立ったそれらのマネジメントに必要な概念・方法論・システムの構築とその運用を学び、研究します。経営システム工学科のみならず他学科、他学部の卒業生の受け入れを歓迎する方針です。

## 学 位

本大学院において授与する博士の学位は次のとおりです。

理工学研究科理工学専攻 博士後期課程 博士（理学）または博士（工学）

## 学生募集

理工学研究科博士後期課程（一般、社会人特別選抜）では、第一期募集と第二期募集に分けて入学試験を実施いたします。

第一期募集に関する要項は、p. 10 から p. 12 をご覧ください。

第二期募集に関する要項は、p. 13 から p. 15 をご覧ください。

なお、p.16 以降は第一期募集、第二期募集に共通した重要事項についての記載ですので、必ずお読みください。

## 募集人員

理工学専攻 博士後期課程	}	基礎科学コース	}	(第一期募集)	各コース若干名
		化学コース			
		機能物質創成コース			
		生命科学コース			
		電気電子工学コース		(第二期募集)	各コース若干名
		機械創造コース			
		知能情報コース			
		マネジメントテクノロジーコース			

## 出願資格（研究指導を希望する教員から予め承認を受けた後、出願してください）

以下の1～6のいずれかに該当するもの。

1. 修士の学位または専門職学位を授与された者および2018年3月取得見込みの者。
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2018年3月取得見込みの者。
3. 文部科学大臣の指定した者。
4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2018年3月取得見込みの者
5. 博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
6. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達したもの

なお、出願資格6に該当する者の入学資格審査は、次の①または②を参考にして行われる。

- ①大学を卒業し、または外国における学校で16年の課程を修了した後、科学・技術関係の分野で2年以上の経験と、十分な業績を有する者。
- ②著書、学術論文、学術講演、学術報告および特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

**〔社会人特別選抜について〕**

前記出願資格1～6のうちいずれかを満たし、出願時において、官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属する機関から推薦を受けた者を対象に行いません。

## 第一期募集関係

### 出願資格審査

出願資格3～6のいずれかにより出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に相模原事務部学務課理工学研究科担当に連絡し、次の書類を提出してください。

出願資格審査申請期間： 2017年9月8日（金）まで。

- 提出書類： (1) 入学志願票（本学所定用紙）  
 (2) 最終学歴の成績証明書  
 (3) 最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書  
 (4) 研究実績概要（様式は任意）  
 (5) 出願資格審査申請書（様式は任意）

研究歴、研究業績リスト等を記載し、資料を添付してください。

- ※ ①提出書類は必ず書留郵便とし、出願資格審査書類在中と朱書きしてください。  
 ②提出書類の(1)～(4)については、出願資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。

### 出願書類

1. 入学志願票及び受験票（本学所定用紙）

※入学志願票の「研究指導を希望する教員名」欄に教員名を記入すると同時に、教員の承認印をあらかじめ受けてください。

2. 成績証明書

3. 最終出身大学院の修了（見込）証明書（本学出身者は不要）

4. 写真1枚（脱帽上半身、背景なし、ﾀｲﾌﾞ4cm×ｺﾞ3cm、最近3ヵ月以内撮影、入学志願票の所定欄に貼付）

5. 振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）

銀行で入学検定料を振り込んだ際に受け取った振込通知書（大学院提出用）を、振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。

6. 修士論文の概要（800字程度）

7. 社会人特別選抜による志願者は、上記1～6のほかに、以下のものを提出してください。

- (1) 推薦書(所属する機関が作成したもので、代表者又は所属長が署名・捺印したもの)(書式は自由)  
 (2) 研究実績概要（在職中に行った志願コース分野に関連する研究実績を記載したもの）  
 (3) 在職証明書（官公庁、会社等の公印のあるもの）

8. 外国籍者は、以下の①②いずれかを提出してください。

- ①住民票（「在留資格」、「在留期間等」、「在留期間等の満了の日」、「在留カード等の番号」が記載されたもの）  
 ②パスポートのコピー（氏名、国籍、在留資格の確認ができるページをコピー）

◎合格した場合、郵送で通知を希望する者は、その旨をA4用紙に記述し提出すること(書式は自由)

## 入学検定料

35,000円

1. 同封の振込依頼書を使用し、日本国内の銀行窓口より振り込んでください（ATMは不可）。  
出願期間最終日を過ぎると振込できません。なお、銀行窓口時間にご注意ください。  
振込依頼書は、必ず第一期出願用をお使いください。
2. 振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）（本学所定用紙）
3. 出願受付後、入学検定料は返還いたしません。

## 出願手続および期間

出願は窓口受付、または郵送受付とします。

〔窓口受付〕

2017年9月26日（火）・27日（水）9:00～17:00（11:30～12:30は除く）

出願者は、出願書類および入学検定料を相模原事務部学務課入学願書受付窓口（B棟1階 スチューデントセンター）（p.23参照）に提出し、受験票の交付を受けてください。

〔郵送受付〕

2017年9月27日（水）消印有効です。これを過ぎた消印のものは受理せず返送します。

郵送の場合は、必ず書留郵便とし、出願書類と入学検定料として郵便普通為替を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に返送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。

〔送付先〕 青山学院大学相模原事務部学務課 理工学研究科入学願書受付係宛

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6033(ダイヤル)

**※疾病・負傷や身体障害のために、受験及び修学上特別の配慮を必要とする者は、「受験特別措置申請書」を提出する必要があります。出願前に必ず学務課 理工学研究科入学願書受付係までご連絡ください。**

## 入学試験日

2017年10月7日（土）

## 入学試験場

試験は、青山学院大学相模原キャンパスで実施します。

試験教室等の詳細は、試験当日にN棟1階の理工学研究科掲示板（p.23参照）に掲示します。

## 試験科目および試験時間

入学試験（社会人特別選抜を含む）の試験科目は、「英語」と「専門（口述試問）」です。

入学者の選抜は、試験科目と書類審査を総合して判定します。

ただし、本学理工学研究科修了者および修了見込者については、本研究科の外国語認定（英語）の合格をもって、入学試験科目の「英語」に充当します。これに該当するか否かについては、必ず出願時に相模原事務部学務課理工学研究科担当に確認してください。

英 語 : 10:30 ~ 11:30  
専 門 : 13:00 ~  
(口述試問)

## 合格発表

2017年10月13日(金) 13:00

相模原キャンパス理工学研究科掲示板(N棟1階) (p.23参照)に掲示します。

## 入学手続

手続は郵送受付とします。

合格者は相模原キャンパス スチューデントセンター(B棟1階)の学生生活課で入学手続書類を受けとり、所定の期間内に次のものを提出して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、「入学手続要項」でご確認ください。

下記期間以外は理由の如何を問わず受け付けませんので、ご注意願います。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

### 第1次手続

入学手続締切日 : 2017年10月27日(金)

【注意】郵送には本学所定の封筒を使用すること(書留・速達)。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

1. 誓約書・保証書(本学所定用紙)
2. 住民票または住民票記載事項証明書(最近3ヵ月以内発行のもの)  
本籍の表示不要で、本人以外の部分は、必要ありません。
3. 振込通知書(大学院提出用:銀行の収納印の押されたもの)(本学所定用紙)

### 第2次手続

入学手続締切日 : 2018年2月28日(水)

【注意】郵送には本学所定の封筒を使用すること(書留・速達)。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

1. 学籍資料票(本学所定用紙)
2. 出身大学院修了証明書  
(他大学大学院を2018年3月に修了する者のみ提出)
3. 学生証用写真1枚(ﾀﾞｲ4cm×ｺﾞｺ3cm)
4. 振込通知書(大学院提出用:銀行の収納印の押されたもの)(本学所定用紙)

## 第二期募集関係

### 出願資格審査

出願資格3～6のいずれかにより出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に相模原事務部学務課理工学研究科担当に連絡し、次の書類を提出してください。

出願資格審査申請期間： 2018年1月5（金）まで。

- 提出書類： (1) 入学志願票（本学所定用紙）  
(2) 最終学歴の成績証明書  
(3) 最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書  
(4) 研究実績概要（様式は任意）  
(5) 出願資格審査申請書（様式は任意）

研究歴、研究業績リスト等を記載し、資料を添付してください。

- ※ ①提出書類は必ず書留郵便とし、出願資格審査書類在中と朱書きしてください。  
②提出書類の(1)～(4)については、出願資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。

### 出願書類

1. 入学志願票及び受験票（本学所定用紙）

※入学志願票の「研究指導を希望する教員名」欄に教員名を記入すると同時に、教員の承認印をあらかじめ受けてください。

2. 成績証明書

3. 最終出身大学院の修了（見込）証明書（本学出身者は不要）

4. 写真1枚（脱帽上半身、背景なし、ﾀｲﾌﾟ4cm×ｺﾞｺ3cm、最近3ヵ月以内撮影、入学志願票の所定欄に貼付）

5. 振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）

銀行で入学検定料を振り込んだ際に受け取った振込通知書（大学院提出用）を、振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。

6. 修士論文の概要（800字程度）

7. 社会人特別選抜による志願者は、上記1～6のほかに、以下のものを提出してください。

- (1) 推薦書(所属する機関が作成したもので、代表者又は所属長が署名・捺印したもの)(書式は自由)  
(2) 研究実績概要（在職中に行った志願コース分野に関連する研究実績を記載したもの）  
(3) 在職証明書（官公庁、会社等の公印のあるもの）

8. 外国籍者は、以下の①②いずれかを提出してください。

- ①住民票（「在留資格」、「在留期間等」、「在留期間等の満了の日」、「在留カード等の番号」が記載されたもの）  
②パスポートのコピー（氏名、国籍、在留資格の確認ができるページをコピー）

◎合格した場合、郵送で通知を希望する者は、その旨をA4用紙に記述し提出すること(書式は自由)

## 入学検定料

35,000円

1. 同封の振込依頼書を使用し、日本国内の銀行窓口より振り込んでください（ATMは不可）。  
出願期間最終日を過ぎると振込できません。なお、銀行窓口時間に注意してください。  
振込依頼書は、必ず第二期出願用をお使いください。
2. 振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）（本学所定用紙）
3. 出願受付後、入学検定料は返還いたしません。

## 出願手続および期間

出願は窓口受付、または郵送受付とします。

〔窓口受付〕

2018年1月24日（水）・25日（木）9:00～16:00（11:30～12:30は除く）

出願者は、出願書類および入学検定料を相模原事務部学務課入学願書受付窓口（B棟1階 スチューデントセンター）（p.23参照）に提出し、受験票の交付を受けてください。

〔郵送受付〕

2018年1月25日（木）消印有効です。これを過ぎた消印のものは受理せず返送します。

郵送の場合は、必ず書留郵便とし、出願書類と入学検定料として郵便普通為替を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に返送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。

〔送付先〕 青山学院大学相模原事務部学務課 理工学研究科入学願書受付係宛

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6033(ダイヤルイン)

**※疾病・負傷や身体障害のために、受験及び修学上特別の配慮を必要とする者は、「受験特別措置申請書」を提出する必要があります。出願前に必ず学務課 理工学研究科入学願書受付係までご連絡ください。**

## 入学試験日

2018年2月3日（土）

## 入学試験場

試験は、青山学院大学相模原キャンパスで実施します。

試験教室等の詳細は、試験当日にN棟1階の理工学研究科掲示板（p.23参照）に掲示します。

## 試験科目および試験時間

入学試験（社会人特別選抜を含む）の試験科目は、「英語」と「専門（口述試問）」です。

入学者の選抜は、試験科目と書類審査を総合して判定します。

ただし、本学理工学研究科修了者および修了見込者については、本研究科の外国語認定（英語）の合格をもって、入学試験科目の「英語」に充当します。これに該当するか否かについては、必ず出願時に相模原事務部学務課理工学研究科担当に確認してください。



## 第二期募集関係

英 語 : 10:30 ~ 11:30  
専 門 : 13:00 ~  
(口述試問)

## 合格発表

2018年2月17日(土) 13:00

相模原キャンパス理工学研究科掲示板(N棟1階) (p.23参照)に掲示します。

## 入学手続

手続は郵送受付とします。

合格者は相模原キャンパス スチューデントセンター(B棟1階)の学生生活課で入学手続書類を受けとり、所定の期間内に次のものを提出して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、「入学手続要項」でご確認ください。

下記期間以外は理由の如何を問わず受け付けませんので、ご注意願います。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

入学手続締切日 : 2018年2月28日(水)

**【注意】** 郵送には本学所定の封筒を使用すること(書留・速達)。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

提出書類 :

1. 誓約書・保証書(本学所定用紙)
2. 学籍資料票(本学所定用紙)
3. 出身大学院修了証明書  
(他大学院を2018年3月に修了する者のみ提出)
4. 住民票または住民票記載事項証明書(最近3ヵ月以内発行のもの)  
本籍の表示不要で、本人以外の部分は、必要ありません。
5. 学生証用写真1枚(ﾀｲﾌﾟ4cm×ｺﾞｺ3cm)
6. 振込通知書(大学院提出用:銀行の収納印の押されたもの)(本学所定用紙)

## 学費等納入額の内訳について

### 学費等納入額内訳

費 目		金 額	備 考
学 費	入学金	※290,000円	入学時のみ (ただし、本学理工学研究科修了見込者・修了者はは免除)
	授業料	217,500円	年額435,000円(後期分217,500円は後期納入)
	在籍基本料	40,000円	年額80,000円(後期分40,000円は後期納入)
	施設設備料	50,000円	1、2年次のみ 年額100,000円(後期分50,000円は後期納入) (ただし、本学理工学研究科修了者は2年間免除)
	教育活動料	55,000円	毎年納入 年額110,000円(後期分55,000円は後期納入)
	小計	652,500円	
諸 会 費	後援会費	2,500円	毎年納入 年額5,000円(後期分2,500円は後期納入)
	◎ 校友会費	30,000円	入学時のみ (ただし、本学理工学研究科修了者は納入不要)
	理工学会費	2,000円	毎年納入 年額4,000円(後期分2,000円は後期納入)
	小計	34,500円	
入学時納入金合計		687,000円	ただし、本学理工学研究科修了見込者・修了者は367,000円
初年度納入金合計		1,054,000円	2年次合計(734,000円)、3年次合計(634,000円)

◎印の校友会費については、退学、除籍時に申請

により、校友会本部事務局（校友センター）において全額の返還をうけることができます。

### 備 考

#### 1. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

#### 2. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、「入学辞退願」が2018年3月31日午後4時までには受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格発表時にお渡しする入学手続要項をご覧ください。

## 薦田先端学術奨学金

故 薦田俊彌本学名誉教授の遺贈に伴うご遺志により、次代の理学・工学における教育・研究を担う本学大学院理工学研究科在学生の学業奨励ならびに経済支援のため、「青山学院スカラシップ」（給付・冠奨学金）の規則に準じ、薦田先端学術奨学金が設けられています。

概要は大学ウェブサイトの理工学研究科紹介ページのバナー [薦田先端学術奨学金](http://www.aoyama.ac.jp/graduate/science/index.html) をご覧ください。  
(<http://www.aoyama.ac.jp/graduate/science/index.html>)

## 一般的注意事項

1. 一旦受け付けた書類、入学検定料は一切返還しません。
2. 受験票が試験当日までに未着の場合および紛失した場合は、相模原事務部学務課窓口（B棟1階 スチューデントセンター）（p.23参照）で受験票を再発行しますので身分証明書等を持参してください。なお、受験中は常に受験票を机の上に置いてください。
3. 受験者は試験当日、N棟1階の理工学研究科掲示板（p.23参照）で受験教室や伝達事項を必ず確認してください。
4. 試験開始10分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、自分の受験番号ラベルが貼付された机に着席してください。
5. 試験開始から20分以上遅刻した者は、当該試験科目以降全ての受験資格を失います。
6. 課された試験のすべてを受験する必要があります。なお、一科目でも欠席した者は、不合格とします。また、各科目の終了時間までは退室を認めません。
7. 携帯電話等の電子機器類は試験場内では使用を禁止します。時計としての使用も禁止します。一般的な時刻表示以外の機能を持つ時計も使用できません。
8. 問い合わせ先は、内容により次のとおりです。ただし、可否に関しては一切応じられません。  
(出願・受験に関する内容) 相模原事務部学務課 TEL 042-759-6033 (ダイヤル)  
(入学手続に関する内容) 相模原事務部学生生活課 TEL 042-759-6004 (ダイヤル)
9. 出願資格1および2に該当するもののうち「修士の学位または専門職学位を2018年3月までに取得見込の者」で合格し、入学手続を完了していても、2018年3月までに修士の学位または専門職学位を授与されない場合は、入学を許可しません。

## 連携大学院方式について

連携大学院方式とは、青山学院大学大学院理工学研究科（以下「大学院」という。）が国立・私立等の研究所等（以下「研究所」という。）と協定に基づき連携をして、研究所の研究者を本学の客員教授または客員准教授（以下「客員教員」という。）として委嘱し、大学理工学研究科の学生（以下「大学院学生」という。）は最新の設備と機能を有する研究所において、それらの客員教員から修士論文および博士論文の研究指導等を受け、大学院の研究領域の拡大はもとより新たな学問領域の確立を図り、大学院教育を多様化することを目的とした制度です。

### 客員教員（指導教員）

本学大学院において必要とみとめられる研究分野について、研究所の研究員を客員教員として委嘱します。

### 大学担当教員（副指導教員）

本大学院の専任教員がこれにあたり、客員教員に協力して、大学院学生の研究指導等について補完的役割を担います。

### 大学院学生

本学大学院に在籍し、課程修了に必要な単位は本学で修得する。研究指導は原則として研究所において客員教員から受けることとなります。

### <2018年度連携大学院方式に伴う受入先>

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

独立行政法人 産業技術総合研究所

（注）連携大学院方式による指導教員を希望する場合は、必ず出願前に該当する大学担当教員にお問い合わせください。なお、連携大学院方式による客員教員については、2017年度の教員組織を参考に記載しております。

# 教 員 組 織

大学院理工学研究科

研究科長 橋本 修

理工学専攻

専攻教務主任 長 秀雄

教務主任 (基礎科学コース)

山崎 了

教務主任 (化学コース)

長谷川 美貴

教務主任 (機能物質創成コース)

北野 晴久

教務主任 (生命科学コース)

阿部 文快

教務主任 (電気電子工学コース)

松谷 康之

教務主任 (機械創造コース)

熊野 寛之

教務主任 (知能情報コース)

Dürst, Martin J.

教務主任 (マネジメントテクノロジーコース)

熊谷 敏

# 博士後期課程

## 理工学専攻

### 基礎科学コース

研究指導教員				専門分野
教 授	杉 原 正 顕			数理解析
	竹 内 康 博			数理モデリング、生物数学
	谷 口 健 二			表現論、球関数
	中 山 裕 道			位相幾何学、力学系、微分位相幾何学
	西 山 享			表現論、調和解析、離散数学
	前 田 はるか			原子物理学実験、量子制御、極低温リユードベリ原子・プラズマ
	松 川 宏			摩擦の物理
	松 本 裕 行			確率論、微分方程式論
	吉 田 篤 正			宇宙物理学、トランジェント天体
	准 教 授	坂 本 貴 紀		
山 崎 了				宇宙物理学、高エネルギー天文学
担 当 教 員				担 当 科 目

研究指導教員共通 物理科学特別輪講（E～J）、数理学特別輪講（E～J）

### 化学コース

研究指導教員				専門分野
教 授	阿 部 二 朗			量子化学、物性化学、機能物質化学
	坂 本 章			物理化学、分子分光、構造化学
	杉 村 秀 幸			天然物合成化学、生体機能分子の設計と合成
	鈴 木 正			物理化学、レーザー光化学
	武 内 亮			有機化学、有機合成化学、有機金属化学
	長谷川 美 貴			錯体化学、ランタニド錯体の光化学
担 当 教 員				担 当 科 目

研究指導教員共通 化学特別輪講（E～J）

### 機能物質創成コース

研究指導教員				専門分野
教 授	北 野 晴 久			物性物理学、超伝導と電荷秩序、マイクロ波物性
	澤 邊 厚 仁			固体電子物性、電子薄膜材料の合成と解析
	重 里 有 三			固体化学、高度な機能を有する無機薄膜材料の創成
	下 山 淳 一			固体欠陥化学、新機能材料創成、新超伝導物質開発
	古 川 信 夫			物性理論、新規機能性物質の材料設計
客員教授 (連携大学院方式)	三 井 敏 之			表面科学、生物物理学
	竹 歳 尚 之			ナノ薄膜・界面の熱物性、薄膜・微小領域熱物性計測技術の開発 (大学担当教員は重里 有三教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	八 木 貴 志			固体物理学、熱物性解析 (大学担当教員は重里 有三教授)
	山 下 雄 一 郎			材料科学、固体物性理論、ナノ炭素材料 (大学担当教員は重里 有三教授)
担 当 教 員				担 当 科 目

研究指導教員共通 物質科学特別輪講（E～J）、物質工学特別輪講（E～J）

## 生命科学コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	阿 部 文 快 諏 訪 牧 子	分子生物学、生化学、生物物理学、圧力生理学、分子遺伝学 バイオインフォマティクス、計算生物学、生物物理学、ゲノム情報学、生命情報に基づくタンパク質の構造・機能予測
	田 邊 一 仁 富 重 道 雄	生体分析化学、分子イメージング、生物有機化学、核酸化学 生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	平 田 普 三 宮 野 雅 司	生化学、分子生物学、細胞生物学、発生生物学、生理学、脳科学、疾患、老化 脂質構造生物、応用の基盤となる構造生物学、水とタンパク質の構造科学
コース兼担教授	三 井 敏 之	表面科学、生物物理学
担 当 教 員		担 当 科 目
研究指導教員共通		生命科学特別輪講（E～J）

## 電気電子工学コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	橋 本 修 野 澤 昭 雄	生体・環境電磁工学、マイクロ波・ミリ波計測工学 生体計測工学
	林 洋 一 松 谷 康 之	パワーエレクトロニクス アナログ・デジタル回路、集積回路
	米 山 淳 准 教 授 黄 晋 二	制御工学、システム理論 電子デバイス工学、結晶成長
	測 真 悟	結晶工学、光電子物性
担 当 教 員		担 当 科 目
教 授	野 澤 昭 雄	福祉工学
准 教 授	測 真 悟	製品安全と社会制度
研究指導教員共通		電気電子工学特別輪講（E～J）

## 機械創造コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	大 石 進 小 川 武 史	精密工学、精密加工、工作機械、加工計測 材料強度学、疲労強度・破壊抵抗評価
	熊 野 寛 之 長 秀 雄	熱・環境工学、伝熱工学、蓄熱技術 材料科学、超音波計測、非破壊評価
	麓 耕 二 横 田 和 彦	熱流体工学、エネルギー変換工学、生体熱工学 航空宇宙原動機学、数値・実験・理論流体力学、ターボ機械学
	米 山 聡 渡 邊 昌 宏	材料力学、実験力学 流体関連振動、流体構造連成力学、振動工学
客員教授 (連携大学院方式)	徳 川 直 子	流体力学 (大学担当教員は横田 和彦教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	後 藤 健	宇宙構造、材料工学、複合材料工学 (大学担当教員は米山 聡教授)
担 当 教 員		担 当 科 目
研究指導教員共通		機械創造特別輪講（E～J）

## 知能情報コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	Dürst, Martin J. 大 原 剛 三 小 宮 山 撰	ワールドワイドウェブ、ソフトウェアの国際化、ソフトウェア科学 発見科学、データマイニング、機械学習、社会ネットワーク分析 ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティ、音響学

佐久田 博 司	モデルによる教育システム (Model Based Learning System)、応用設計情報システム
鷺 見 和 彦	パターン認識 (画像認識・画像理解・コンピュータビジョン)、セキュリティ (映像セキュリティ・生体個人認証)
戸 辺 義 人	情報通信工学、実世界コンピューティング
原 田 実	自然言語処理、意味解析、自動要約、質問応答、テキストマイニング、自動プログラミング、対話ロボット
山 口 博 明	ロボット工学、制御工学、メカトロニクス

担 当 教 員

担 当 科 目

研究指導教員共通 知能情報特別輪講 (E～J)

マネジメントテクノロジーコース

研究指導教員

専 門 分 野

教 授 石 津 昌 平	品質情報システム、評価構造、品質管理技術、経営品質評価、品質管理教育
小野田 崇	統計的機械学習、設備診断・サイバーセキュリティ、人工知能、ビッグデータ解析
熊 谷 敏	経営工学、経営管理システム
宋 少 秋	組合せ最適化、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ
松 本 俊 之	インダストリアル・エンジニアリング、改善技術、生産情報システム、環境教育・経営
水 山 元	生産システム工学、生産管理、集合知
准 教 授 大 内 紀 知	イノベーション・マネジメント、技術経営学、データ分析

担 当 教 員

担 当 科 目

教 授 水 山 元 インターンシップ、海外インターンシップ  
研究指導教員共通 マネジメントテクノロジー特別輪講 (E～J)

担 当 教 員

担 当 科 目

兼 担 教 授 Lenz,K.F.	知的財産
菊 池 純 一	知的財産、製品安全と社会制度
講 師 伊 敷 万 太 郎	製品安全と社会制度
石 田 知 子	科学・技術と社会
佐々木 哲 也	リスクベース安全工学
島 田 行 恭	リスクベース安全工学
鈴木 壯兵衛	知的財産
高 槁 ゆかり	環境科学
舘 野 佐 保	科学技術倫理
豊 澤 康 男	リスクベース安全工学
増 井 徹	科学技術倫理
三 浦 範 大	製品安全と社会制度
吉 田 洋 一	知的財産
吉 野 弦 太	科学技術倫理
齋 藤 剛	リスクベース安全工学

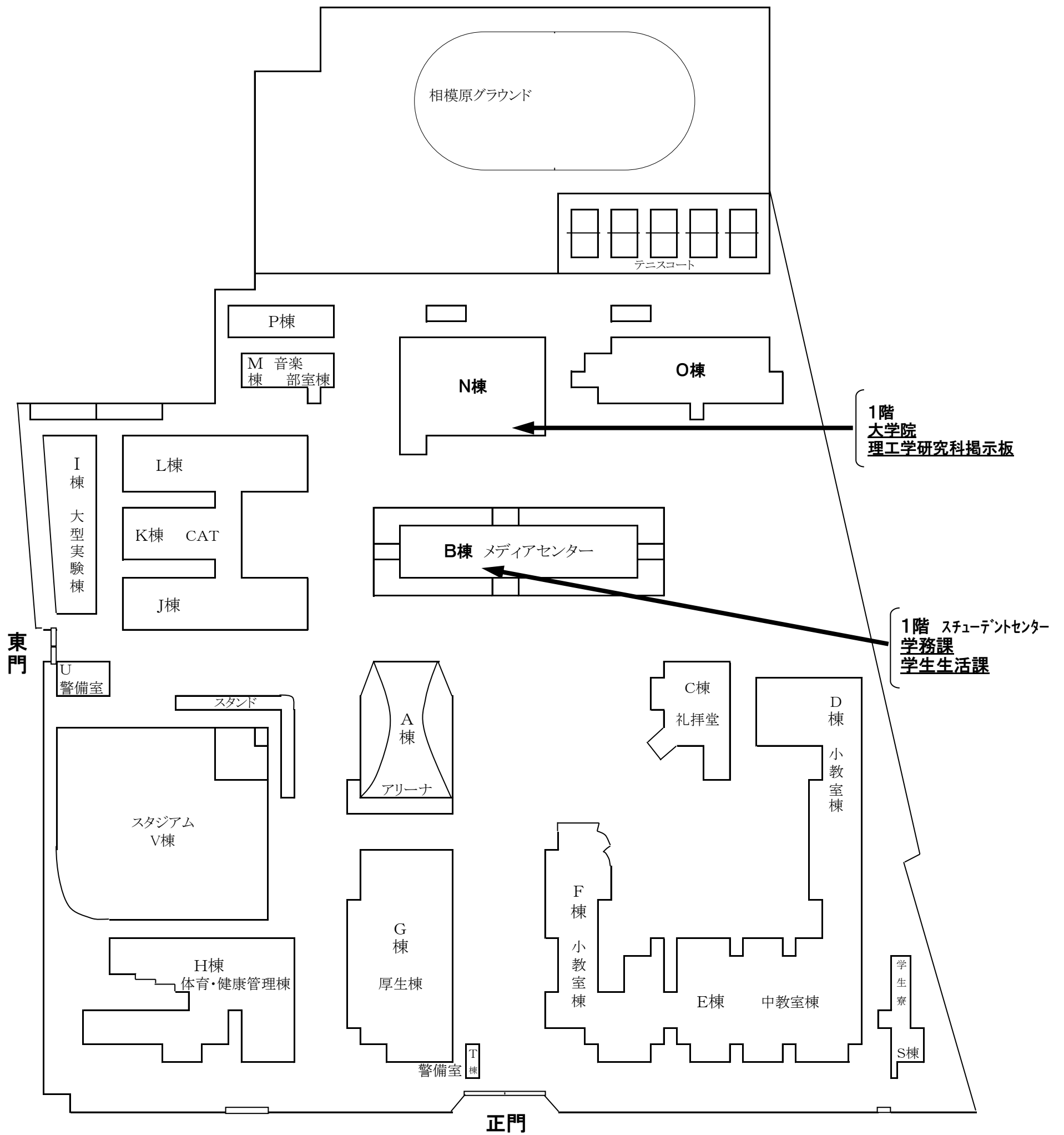
コース兼任担当制度について

本学大学院理工学研究科の教員である者のうち、以下の①②の両方に該当する者は、コース兼任担当 (コース兼任) の資格者です。本研究科教員は、入学試験合格者の希望に基づき、本研究科での資格審査で承認された場合、コース兼任担当者となることができます。入学を希望する専修コースと、希望する研究指導教員の所属専修コースが異なる場合は、出願時に希望する研究指導教員に必ず申し出てください。

- ① 専門とする研究が、他コースの研究分野を跨ぐ、境界領域に発展している教員。
- ② 分野を跨ぐ境界領域での研究を主題とする学生が、研究指導を希望している教員。



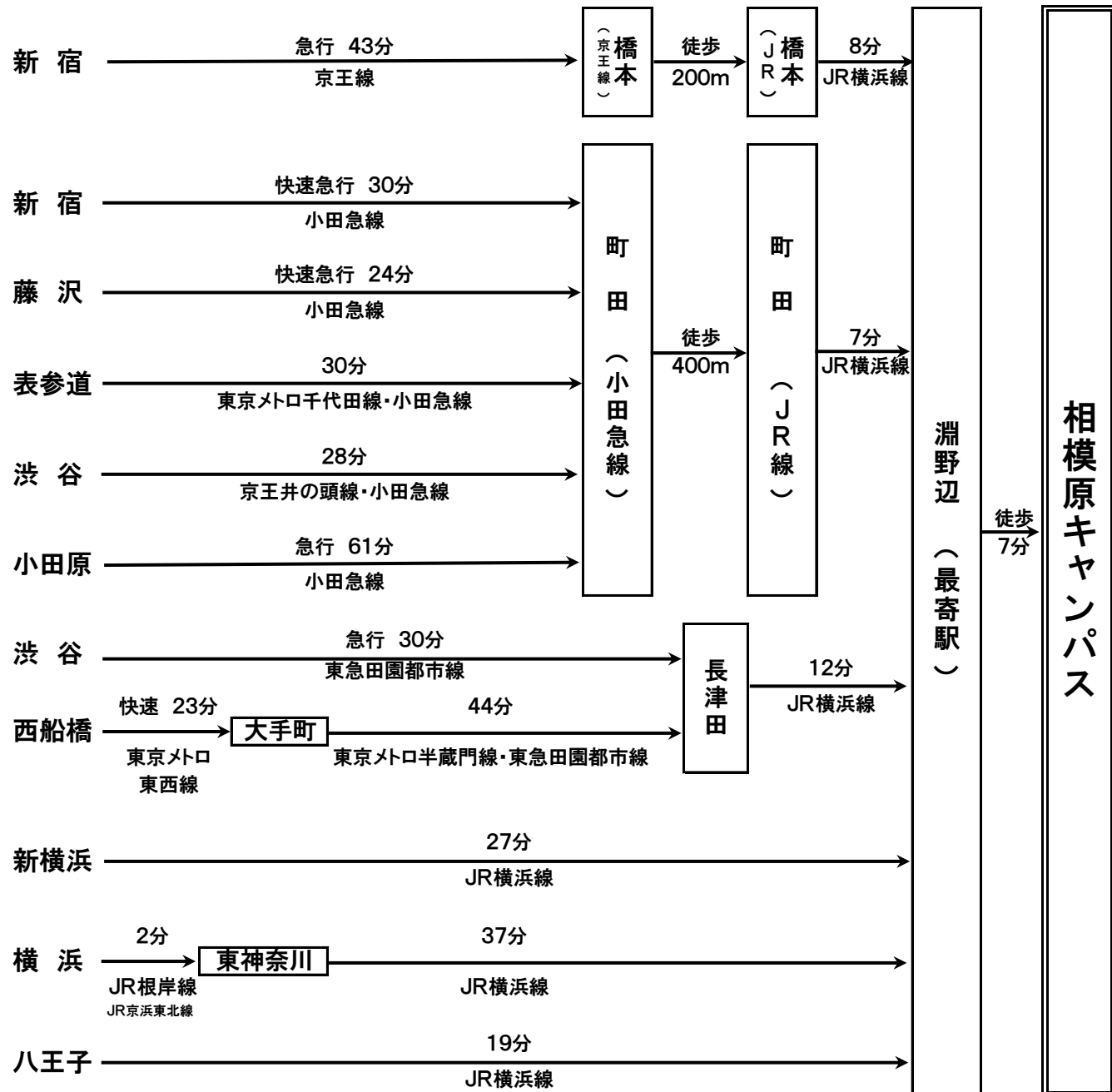
# 相模原キャンパス建物配置図



# 交通関係について

## 交通アクセス・所要時間

(パソコンソフト「駅すばあと」より。所要時間に乗換え時間は含まれていません。)



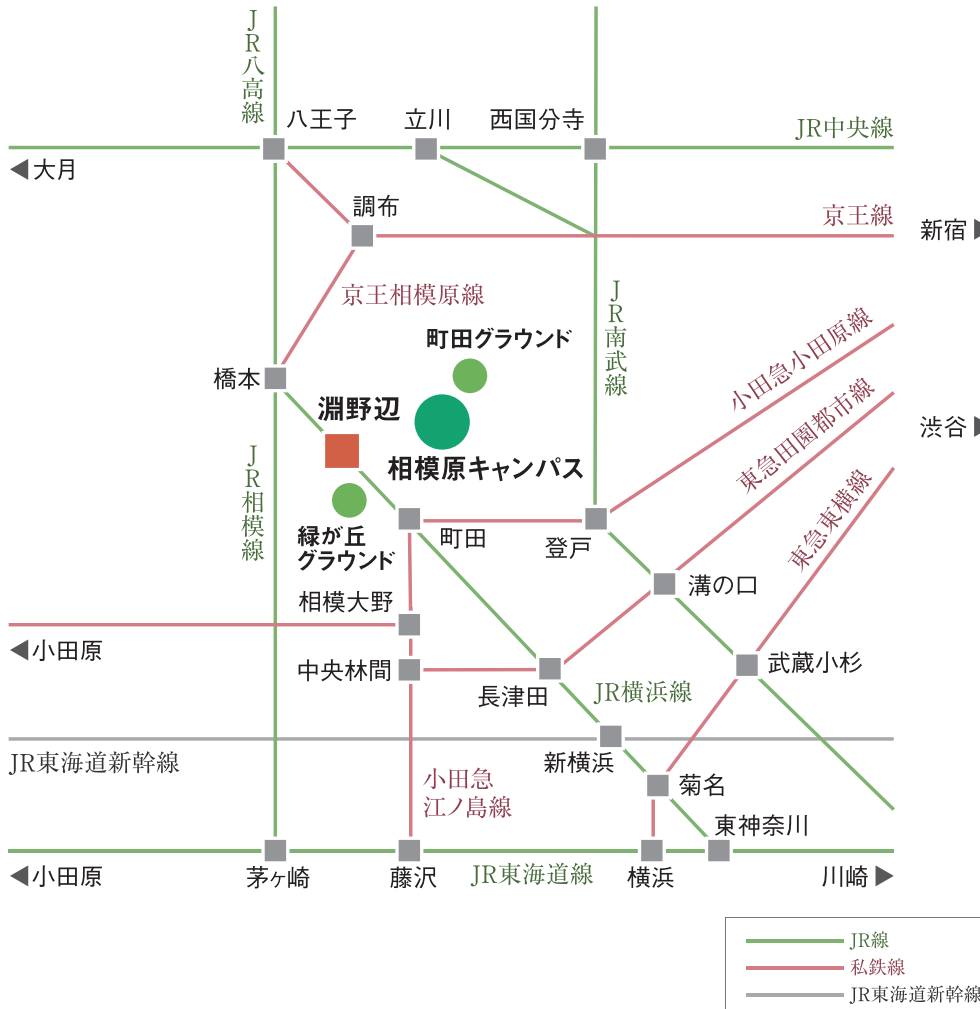
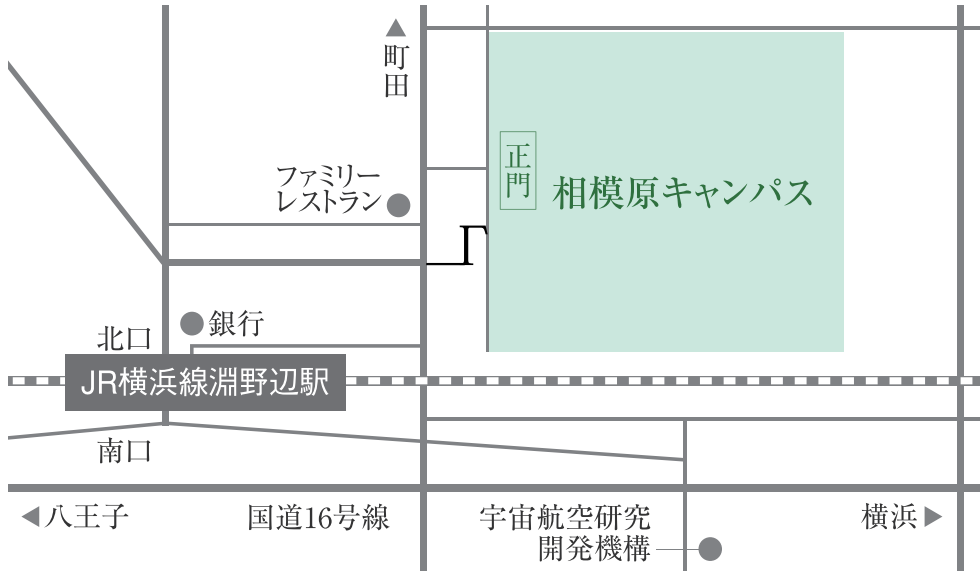
\* 淵野辺駅は各駅停車駅です。特急、快速は停車しません。

- [京王線を利用する場合] 京王相模原線橋本駅からJR横浜線橋本駅までは約200mです。また、朝夕の通勤・通学時間帯は混雑しますので、乗り換えに時間がかかることを考慮に入れてください。
- [JR横浜線を利用する場合] 各駅停車の多くは、東神奈川駅が始発となっています。横浜駅発着の各駅停車は少ないので、横浜駅を利用する方は注意してください。
- [小田急線を利用する場合] 小田急線町田駅までは約400mです。また、朝夕の通勤・通学時間帯は混雑しますので、乗り換えに時間がかかることを考慮に入れてください。

# 相模原キャンパス

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

JR横浜線「淵野辺駅」より徒歩7分



地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院理工学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6033 (相模原事務部学務課)